

# えびの市立加久藤中学校

生徒数：120名 学級数：8クラス URL：<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4431/>

〈テーマ〉

自分や他者の人権を大切にできる、思いやりのある生徒の育成  
～生徒の悩みや不安を解消する人権教育の取組を通して～

## 本校の特色ある取組

### 【人権問題に関わる職員研修】

- 11月に和歌山県で実施された「部落解放研究第56回全国集会」についての参加報告と、部落差別についての職員向け研修を行った。（学習指導等支援教員の講話）
- 人権・同和教育について、夏季（8月）と、冬季（12月）の休業中に職員向けの研修を行った。（講師を招聘しての講話）

〈講師〉：いじめ・部落差別をなくす人権教育コンサルタント 蔵坪恵常 氏



【人権・同和教育の職員研修】

### 【人権週間に合わせた取組】

- 7月に実施した「西諸みんなで人権について考える取組」では、学習指導等支援教員が指導案等を準備し、1年「いじめ問題を考えよう」、2年「アサーティブな自己表現をしよう」、3年「高齢者と共に生きる」というテーマで、各クラスにおいて人権の授業を実施し、授業後には生徒、保護者にも感想を書いてもらった。
- 12月の「人権週間」では、小中合同人権研修会も兼ねて、1年「公平と不公平」（研究授業1年2組）、2年「命の大切さ」（研究授業2年2組）、3年「障がいの理解と支援について」（講師を招聘しての講話と実践）を行った。いずれも授業後に生徒、保護者に感想を書いてもらった。

〈講師〉：にしもろ基幹相談支援センター 主任相談支援専門委員 大田泰宏 氏



【障がいの理解と支援についての講座】

### 【その他】

- 学校生活アンケート（毎月）
- 教育相談（5月・11月）

## 成果と課題

### 【人権に関わる職員研修】

- 部落差別について・・・プレゼンテーションを作成し、同和問題に関する職員向けの基礎知識を深める研修を行った。同和問題について詳しく知ったという職員もあり、有意義な時間となった。
- 人権・同和教育について・・・夏季休業中、冬季休業中の職員研修の時間に、講師を招いての人権・同和問題に関する学習を行った。教師側の無意識な予断と偏見によって生徒を傷つけてしまうことがあることや、真摯に同和問題に向き合っていく強い信念を改めてもつことができた。今後は職員間のみならず、生徒や地域にも広く啓発していきたい。

### 【人権週間に合わせた取組】

- 西諸みんなで人権について考える取組・・・学習指導等支援教員が学年の課題を踏まえた学習指導案を準備し、学級担任が授業を実施した。生徒と家庭からの感想には前向きな感想が多く見られた。
- 人権週間・・・12月の人権週間では、1、2年生の学級担任が、小中合同研修会も兼ねて、人権に関わる道徳科の研究授業を実施した。3年生は、講師をお招きし、「障がいの理解と支援」についての授業を実施した。いずれも生徒と保護者に感想を書いていただき、その感想には、人権に関する有意義な感想が多く見られた。今後とも人権意識を高めるためにも継続した取組を行いたい。

### 【その他】

- 学校生活アンケート・・・生徒の悩みや困り感などをロイロノートのアンケート機能を活用し、毎月共通理解を図ることができた。オンライン上で把握することで、用紙回収、集計等の煩雑さを解消することができ、生徒のプライバシー保護にもつながった。集計結果をまとめたものを、職員のみ閲覧できるようにし、緊急を要すものや、大きなことに関しては、すぐに対応していただいた。ただし、本来アンケートを取るべき不登校傾向の生徒に対してはなかなか実施できなかったことが、今後の課題でもある。
- 教育相談・・・5月と11月に全生徒を対象にした教育相談を実施した。事前アンケートや、毎月の学校生活アンケート等を参考にしながら、生徒一人一人の悩みや困り感を拾い上げた。また、11月の教育相談では、学級担任のみならず、生徒が相談しやすい先生に相談ができるように、相談相手をより柔軟にした。今後も生徒が安心して学校生活を送れるような学校を作っていきたい。